

衆議院議員

兵庫県第六選挙区
(伊丹市・宝塚市・川西市)

大串まさき

<http://www.m-ogushi.com/>

国政報告

- ✔ 新型コロナウイルス感染症への対応
- ✔ 最近の国会での活動
- ✔ 令和3年度予算が成立

ゲノロック VOL. 24



大串まさき プロフィール

自由民主党 副幹事長
元 経済産業大臣政務官

- ▶ 昭和41年生まれ。報徳学園高卒(74回)。東北大学工学部卒(資源工学科)、同大学院修了(工学修士)。博士(知識科学)。
- ▶ IHI(工業炉設計部)、松下政経塾、大学准教授などを経て現職。現在3期目。
- ▶ 厚生労働・文部科学・経済産業など幅広い政策分野で活躍中。
- ▶ 専門: 医療・福祉、教育政策など
- ▶ 家族: 妻と二人暮らし(猫一匹)
- ▶ 趣味: 釣り、絵画、多肉植物
- ▶ スポーツ: 高校まで剣道一筋
- ▶ 好きな食べ物: カレー
- ▶ 座右の銘: 威ありて猛からず

お問い合わせ先

自民党への入党のご希望、国政報告会への参加希望など、お問い合わせは下記までお願い致します。

〒664 兵庫県伊丹市中央 1-2-6
-0851 グランドハイツコーワ 2-12
TEL:072-773-7601
FAX:072-773-7602

✉ info@m-ogushi.com



自由民主党 兵庫県第六選挙区支部
ニューズレター

第24号(令和3年4月15日号)

頒布責任者: 浅井勝弘
伊丹市中央 1-2-6 グランドハイツコーワ 2-12

印刷者: (有)弘栄堂印刷所

伊丹市中央 4-1-11

討議資料

新型コロナウイルス感染症への対応

緊急事態宣言解除を受けて進める五つの取組

緊急事態宣言は解除されましたが、今後も、これまでの経験を踏まえた取組が必要になります。この間に特措法及び感染症法の改正法が成立し、ワクチン接種が開始されました。しかし、従来株よりも感染性が増していることが懸念される変異株への感染が国内でも確認されています。社会経済活動を継続しつつ、再度の感染拡大を防止するために以下の五つの取組を進めて参ります。

1 飲食の感染対策

ガイドラインを見直し飲食店等における感染防止策を促進。また新技術の導入による新たな感染防止策の促進やクラスター対策の強化。

2 変異株対策

積極的疫学調査と検査等により社会全体での変異株の感染拡大を防止。水際措置の強化、変異株スクリーニング検査など調査体制の強化。

3 感染拡大防止策

モニタリング検査など多様な検査を組み合わせた戦略的検査を実施。保健所の体制も強化し積極的疫学調査を実施。高齢者施設対策の強化。

4 ワクチン接種

重症化リスクや医療提供体制の確保等を考慮しワクチン接種を着実に実施。また、ワクチンの有効性・安全性に関する情報収集・情報提供を推進。

5 医療提供体制

これまでの課題を点検・改善して病床・宿泊療養施設が最大限活用される流れを確保。医療機関の役割分担の徹底などで実効的に病床を確保。

なお現在、各市・医療関係者の協力によりワクチン接種を進めていますが、全ての皆さんに対して接種が完了するまでは相当の時間を要します。引き続き、不要不急の外出や大人数での飲食の自粛、手洗いの励行やマスクの着用など、感染症対策へのご協力をお願い致します。国としても自治体と密接に連携をしながら、感染拡大の防止のため、機動的・徹底的に対策を実施して参ります。

国政報告会のご案内

以下の通り国政報告会を開催させていただきます。入場無料です。参加ご希望の方はご一報下さい。

伊丹 6月19日(土)
14:00~15:00
伊丹市立図書館 地下
ことば蔵 多目的室 1
伊丹市宮ノ前 3-7-4

川西 6月20日(日)
11:00~12:00
キセラ川西プラザ
文化棟 2階 大会議室
川西市火打 1-12-16

宝塚 6月20日(日)
16:00~17:00
宝塚市立西公民館
2階 ホール
宝塚市小林 2-7-30

なお、感染症対策として手指消毒・マスクの着用など、ご協力をお願いします。また、社会情勢によっては中止となる場合がございますので、その際には、ご了承下さい。

最近の国会での活動

現在、3期目の衆議院議員として、中堅的な立場で多方面で活動中です。自民党内では、さまざまな課題解決に向けて議論がなされていますが、私もいくつかの分野で責任ある立場として取りまとめ等を担っています。国会では、文部科学委員会や厚生労働委員会に所属して責任ある与党の立場から議論を進めています。

01 規制改革

自民党内では課題ごとに議論の場（部会と呼ばれます）があり、それぞれ担当を決めて政策提言などの取りまとめをおこないます。今期、私は党の**行政改革推進本部**の中に設置された**規制改革のプロジェクトチーム**のリーダーとして、議論から取りまとめまでの全てを任されています。規制改革は、分野ごとの制度や手続き等の課題を根気強く解決していく取組です。場当たりのになりがちなので、できるだけ分かりやすく、効率的に議論が進められるように論点の整理をおこなっています。



02 委員会質疑

文部科学委員会にて質疑に立ちました。教育分野も私の専門なので掘り下げた議論をおこないました。今回は政府が進めている「**令和の日本型学校教育**」をテーマに取り上げました。今国会で議論されている小学校の35人学級の実現や、GIGAスクール構想などは、いずれも**協働的な学びの場**を実現するための環境整備であります。今後は本質的な教師の指導技術を向上させるため、さまざまな支援が必要であり、その成果についても、客観的に評価する仕組みを検討するよう要請しました。



地元では街頭にて活動中

コロナ禍で、皆さんとお目に掛かることができない日々が続いております。こんな時でも、やることはやろうと思い、緊急事態宣言が明けてからは市内各地で街頭演説を実施しています。お車で移動中の方には、じっくり聴いて頂くことは難しいかも知れませんが、多くのご声援を頂いております。これからもしっかりとお伝えして参ります。



令和3年度予算が成立

過去最大の令和3年度予算が成立しました。令和2年度第3次補正予算と併せて、切れ目のない対応をおこなって参ります。感染拡大防止に万全を期しつつ、中長期的な以下の課題にも対応する予算です。

▶ 感染拡大防止

コロナ予備費に5兆円を措置し状況の変化に対応。また、病床・宿泊療養施設の確保、ワクチン接種体制の整備に加えて、感染症危機管理体制・保健所体制の整備、医療機関の支援、医療機器の生産能力の増強などを実施。

▶ デジタル社会・グリーン化の実現

本年9月にデジタル庁を設置。政府全体の情報システムを一元的に管理し効率化。マイナンバーカードの取得促進。グリーン化の実現に向けては、CO2排出削減を支援する成果連動型の低利融資制度を創設。革新的な技術開発なども支援。

▶ 活力ある地方創り

地方創生推進交付金において移住支援事業を拡充し、企業・自治体のマッチング支援（地方創生テレワーク推進事業）で地方へ人や仕事の流れを拡大。国際観光旅客税収を活用して、地域の高付加価値なコンテンツの創出を加速。

▶ 少子化対策など全世代型の社会保障制度の構築

感染症対応を引き続き推進しつつ、介護分野では職員の処遇改善にも配慮した報酬改定（+0.70%）を実施。少子化対策では保育の受け皿の整備や、不妊治療費用の助成なども大幅に拡充。

大きな柱は新型コロナウイルス感染症対策ですが、コロナ禍での反省を踏まえて、さまざまな手続きを効率的におこない、社会全体の生産性を高めていくデジタル化を大きく進めていく年になります。あわせて、暮らしや仕事のスタイルが変わっていくことに対応するための地方創生も支援します。社会全体がコロナの時代へと対応していくための準備の予算ともいえます。同時に懸案でもある少子化対策、さらに長期の課題として環境対策へも配慮して、総合的な視点で政策を実践します。

編集後記

自民党の中では、すでに令和4年度の予算の準備がはじまっています。おおよそ6月までに政策課題を抽出して骨格を決めます。いわゆる「骨太の方針」です。私も同僚の議員たちと協力して、予算編成や政策立案に貢献できるよう

に日々全力投球です。しかし検討すべき課題は山積みで、時間が足りないのが実情。すでに3期9年目で仕事にも慣れてきたとはいえ、まだまだ勉強も必要です。私を選んで頂いた地元皆さんのご期待に応えられるよう、これからも精一杯頑張ります。